

農業委員会だより

第101号

令和8(2026)年

10月1日発行

〈編集・発行〉

大田原市農業委員会

大田原市本町1-4-1
TEL.0287-23-8716

E-mail/nougyou@city.ohatawara.tochigi.jp



大田原市農業委員会新体制へ!!

相馬憲一市長より任命を受け、大田原の農政を牽引する17名の新農業委員



地域農業の現場と農政をつなぐパイプ役として活躍する47名の新農地利用最適化推進委員

主な内容

- | | | | |
|-----------------------------|-----|--------------------------|---|
| ● 会長就任あいさつ | 2 | ● 農業委員・推進委員の素顔 | 7 |
| ● 農地パトロールの実施 | 3 | ● 農業者年金加入推進最優秀賞を受賞 | 7 |
| ● 令和7年度農業委員会の許可及び承認件数 | 3 | ● よろしくお願ひします | 8 |
| ● 農業委員会だより全国コンクール受賞報告 | 3 | ● 地産地消レシピ紹介 | 8 |
| ● 農業委員・農地利用最適化推進委員紹介 | 4~5 | | |
| ● 委員活動報告 | 6 | | |

会長就任のごあいさつ



大田原市農業委員会
第26期 会長
荒井 一夫

新体制の発足にあたり、はじめに「令和8年熊本地震」により被災された皆様、ならびに近年の各地における度重なる水害をはじめとする自然災害により被災された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、私は令和8年7月20日の改選に伴い、相馬憲一市長より農業委員17名の任命を受け、前期に引き続き大田原市農業委員会会長に就任いたしました。同日、農地利用最適化推進委員43名を委嘱し、総勢60名による新体制がスタートいたします。

今回の改選では、農業委員17名のうち5名が新委員、12名が継続委員（うち女性委員5名）となりました。また、推進委員43名のうち21名が新委員となり、今後3年間、共に地域活動に邁進してまいります。

現在、全国の農業委員会においては、一昨年のお話し合いを基に策定した「地域計画（今後10年間の営農計画）」に基づき、将来の担い手の確保や育成に積極的に取り組むことが求められています。

あわせて、農業委員と農地利用最適化推進委員の併存配置を見直す「組織の一本化」についても、方向性を協議・決定していく重要な局面を迎えております。

国際情勢の緊迫化による資材・肥料の高騰、高齢化や労働力不足など、農業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあります。しかし、このような多難な時代だからこそ、私たちは一丸となって足元を見つめ直し、5年後、10年後の大田原市の農業を守るための確固たる基盤を築いていかなければなりません。

農業者の皆様におかれましては、地域農業の持続的な発展に向けた様々な話し合いの場において、今後とも積極的なご提言とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、私たち委員一同は、大田原市の農政・農業推進の一翼を担う者として、地域農業の発展に向け誠心誠意尽力してまいります。今後とも変わらぬご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大田原市農業委員会新体制へ！

任期満了に伴う改選により、相馬市長から新たに大田原市農業委員17名が任命されました。

改選後初の総会が行われ、会長に荒井一夫委員、会長職務代理者に相馬和恵委員が就任しました。

また、農地利用最適化推進委員43名を委嘱し、総勢60名の新しい体制による大田原市農業委員会がスタートしました。



農業委員辞令交付式の様子

相馬市長（左）から任命辞令を受ける農業委員

農地利用最適化推進委員委嘱状交付式の様子

荒井会長（左）から委嘱辞令を受ける農地利用最適化推進委員



令和8年度 農地パトロール(農地利用状況調査)を実施

市内の耕作面積は約 10,800 ㍓、そのうち遊休農地は令和 5 年 19 ㍓、令和 6 年 17.6 ㍓、令和 7 年 18.9 ㍓とほぼ横ばいで推移しています。大田原市農業委員会では、優良農地の確保と遊休農地解消のため、今年度も各地区を担当している農業委員・農地利用最適化推進委員が8月に農地パトロールを実施しました。パトロールは

- ・ 1年以上耕作されておらず、今後も耕作の見込みがない農地
 - ・ 不適切な形での転用が行われていないかの確認
- を中心に、タブレット端末を使用しながら現地確認を行いました。



● 農業委員 古沢 成子 (金田地区担当)

8月1日、推進委員2名とともに金田南部地区の農地パトロールを実施いたしました。

当日は、農地台帳の情報および地図、タブレット端末などを活用し、農地一筆ごとに適正利用の状況を目視および画像で確認していきました。タブレット端末の利用により、従来の目視確認に加え、多角的な農地情報をその場で確認できるようになり、総合的な判断が可能となったことで、調査の効率化・省力化を図ることができました。現地の状況については、いずれの農地も適切に管理されており、所有者の皆さまが日頃から管理に尽力されている様子がうかがえました。

今後も増加が懸念される遊休農地をしっかりと把握し、継続的なパトロールを通じて大切な農地を守ってまいりたいと思います。

● 農業委員 関谷 雄一 (両郷地区担当)

8月28日および30日の2日間にわたり、両郷地区の農地パトロールを実施いたしました。当地区は山間地に位置しており、水利の便や作業機械の搬出入に苦勞するなど、耕作条件の厳しい遊休農地が多く見受けられます。一部の圃場では、圃場内だけでなく、進入道や畦畔(けいはん)にも樹木が群生している状況であり、現在、借り手が見つかりにくい状態となっています。

貴重な農地を活かすため、直ちに解決することは難しいかもしれませんが、関係者皆さまと検討を重ねながら、少しでも遊休化の防止と農地再生が進むよう微力ながら尽力してまいります。



令和7年度農業委員会の許可及び承認件数

①農地法第3条に基づく許可件数

(単位：件、a)

区 分	売 買	交 換	賃貸借	使用貸借	贈 与	競売、その他	計
件 数	58	8	11	5	21	9	112
面 積	2,412	105	1,026	1,187	1,049	450	6,229

②農地法第4条に基づく許可件数

(単位：件、a)

区 分	農家住宅	一般住宅	集団住宅	商 業	農業用施設	資材置場	農地改良	その他	計
件 数	1	3	3	0	0	2	0	1	10
面 積	1	5	27	0	0	30	0	71	134

③農地法第5条に基づく許可件数

(単位：件、a)

区 分	農家住宅	一般住宅	集団住宅	商 業	農業用施設	資材置場	宅地分譲	その他	計
件 数	1	15	2	2	2	12	7	15	56
面 積	10	55	20	69	201	284	168	59	866

④非農地証明願 44件 468a

受賞報告 大田原市農業委員会だよりが「全国農業新聞特別賞」を受賞!

このたび、一般社団法人全国農業会議所と全国農業新聞が主催する第32回「農業委員会だより」全国コンクールにおいて、当委員会が発行する「農業委員会だより」が、見事「全国農業新聞特別賞」を受賞いたしました。本コンクールは、全国の農業委員会が発行する広報誌の中から、優れた情報提供活動を行う優秀な作品を表彰するものです。

今回の受賞は、日頃から本誌を愛読し、取材にご協力いただいている地域の農業者の皆さま、住民の皆さま、そして熱意をもって誌面の土台を築いてくださった前編集委員の皆さまのおかげです。心より感謝申し上げます。

今後も皆さまの営農や生活に役立つ有益な情報を分かりやすくお届けできるよう、より一層充実した誌面づくりに努めてまいります。(編集委員長 秋本 則夫)



金田地区

農業委員 (4名)

荒井 一夫
【会 長】

渡邊 恵一



古沢 成子



津久井 勝之

阿久津 功
中田原小針 貞夫
町島・荒井・岡・
今泉・戸野内吉際 昇
富池・市野沢・練貫小森 次夫
羽田・乙連沢・小滝佐藤 貞男
【副委員長】
北金丸藤田 一義
南金丸小山田 正幸
上奥沢・奥沢引地 卓人
鹿嶋・倉骨・赤瀬・北大和久

大田原地区

農業委員 (3名)



越沼 良



佐藤 孝



木下 智昭

竹内 輝夫
東地区◎平山 栄一
北地区按田 忠
西地区

農地利用最適化推進委員 (3名)

農業委員 (2名)

相馬 和恵
【職務代理者】

岩城 善広

國井 秀一
親園(北区)・実取◎佐藤 務
親園(南区)・滝沢大島 彰
滝岡・花園稲見 典之
宇田川・荻野目

農地利用最適化推進委員 (4名)

野崎地区

農業委員 (1名)



渡邊 和子

橋本 忠司
上石上・下石上・野崎◎渡邊 嘉久
薄葉・平沢

農地利用最適化推進委員 (2名)

佐久山地区

農地利用最適化推進委員 (5名)

小泉 敏章
岩井町、桜町
上町、大沢の一部八木澤 郁
仲町、下町、松原
大沢の一部◎関谷 弘
荒町、新町
平山、佐久山南部金澤 健一
藤沢、琵琶池
天神(南部)小河原 稔
大神(本田)・福原

川西地区

農業委員 (1名)



田代 保

農地利用最適化推進委員 (3名)

◎益子 律雄
黒羽向町・大豆田・余瀬磯 浩美
蜂巣・松木沢矢野目 澄雄
寒井

両郷地区

農業委員 (1名)



関谷 雄一

農地利用最適化推進委員 (4名)

藤田 雄一
中野内鈴木 義彦
寺宿・木佐美益子 悟美
大久保・久野又◎大森 清五
【委員長】
大輪・川田

須賀川地区

農業委員 (1名)



屋代 幸子

農地利用最適化推進委員 (3名)

佐藤 勇
須佐木関和 敏行
須賀川◎鈴木 正夫
雲岩寺・川上・南方

黒羽地区

農業委員 (1名)



齋藤 文昭

農地利用最適化推進委員 (3名)

益子 陳男
黒羽田町・八塩・北滝吉田 実
前田、北野上(南区)三森 恒一
堀之内、北野上(北区)◎宮崎 宏美
片田・亀久・矢倉

農業委員 (3名)



郡司 裕一



植竹 裕子



秋本 則夫

農地利用最適化推進委員 (6名)

遠藤 昌宏
狭原・小船渡植竹 信助
湯津上郡司 義久
佐良土永森 徳男
蛭畑◎渡邊 厚司
蛭田(品川除く)榊原 康仁
新宿・片府田・品川農地についての
相談は
お近くの委員へ
お気軽にどうぞ！

6/2

令和8年度全国農業委員会会長大会に参加して



国会議員への要請活動の様子



全国農業委員会会長大会の様子

令和8年6月2日、東京都の文京シビックホールにおいて「令和8年度全国農業委員会会長大会」が開催されました。本大会には全国から約1,800人の農業委員会関係者が集結し、本県からは全国農業会議所会長も務める栃木県農業会議の國井正幸会長をはじめ、各市町の農業委員会会長らが出席しました。

大会では、農業・農村の現場から汲み上げた課題を基に「力強い農業構造の実現と農地フル活用に向けた提案」を政策提案として決議。あわせて、「地域計画の実現により、持続可能な農業・農村を創る全国運動」に組織を挙げて取り組むための申し合わせ決議を行いました。

また、大会に先立ち、衆議院第二議員会館において栃木県選出の国会議員に対する要請会を開催しました。地域の持続可能な農業構造の実現と農地フル活用に向けた力強い支援を直接要請しました。

(文：事務局)

7/21

農業委員・農地利用最適化推進委員合同研修会に参加して



合同研修会の様子

任期満了に伴う改選により、新しい体制で活動していくにあたって、合同研修会が、開催されました。内容については次のとおりです。

職員から①最適化活動の目標と活動記録の作成については、活動日数を月10日以上と、活動強化月間については年3回で、8月：農地パトロール、12～1月：地域計画、1月：遊休農地の解消とし、新規参入相談会への参加も活動目標です。②委員活動については、委員会の概要と農地の売買・貸借・相続に関する制度、農地転用許可制度と農地パトロールの調査内容についてでありました。他総会及び現地調査の日程や全国農業新聞と農業者年金についても説明をいただき、最後に農地パトロールはタブレット使用なので、その操作の研修も受けました。盛りだくさんの日程で開催されましたが、詳細な研修を受けてさらに委員としての責務を改めて確認いたしました。

(文：渡邊 和子)

8/5

第1回農業委員、農地利用最適化推進委員新任研修会



新任研修会の様子

8月5日、トコトコ大田原において、栃木県農業会議主催の新任の農業委員5名および農地利用最適化推進委員21名を対象とした研修会が開催されました（※那須地区全体では計65名が参加）。

当日は、同会議の國井会長によるご挨拶に始まり、県農業会議や県農政部の職員より、農業委員会の基礎知識をはじめ、農地法、農振法、そして地域計画の推進について詳しく説明が行われました。

現在、基幹的農業従事者の減少や高齢化に伴う離農者の増加が課題となっています。こうした中、これからの担い手が集中した農地で効率よく作業を行い、さらに耕作面積を拡大できるよう、遊休農地や耕作放棄地の抑制および適正利用の一助となることを目指しています。また、コンプライアンス（法令遵守）をしっかりと意識し、地域から信頼される農業委員として活動していけるよう学びを深めました。

(文：渡邊 恵一)

農業委員・推進委員の素顔 第10弾



農業委員
田代 保 委員
(川西地区)

購入から14年。
7月にフル整備に出し
収穫に向けて
準備万端

川西地区生産組合協議会よりご推薦をいただき、大田原市長より任命を受けて、このたび第26期大田原市農業委員に就任いたしました。

前職では40年間にわたり農業関係団体に勤務してまいりました。その長年の経験で培った知見を活かし、今後は優良農地の保全および農業後継者の確保に全力を尽くしてまいります。



推進委員
関谷 弘 委員
(佐久山地区)

おいしい米、
コシヒカリ作りに毎年
奮闘しております!!

推進委員として4期目を迎えることとなりました。

3期目の後半には、佐久山地区の将来の地域農業について話し合う場を4回開催し、アンケート調査も実施いたしました。皆様の温かいご協力に心より感謝申し上げます。

これからも将来を担う若い農業者を中心に、佐久山地区のさらなる発展を願い、遊休農地を増やさないよう、皆様とともに一丸となって取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



推進委員
引地 卓人 委員
(金田地区)

おいしいアスパラ
採れています

脱サラしてアスパラを作り始めて20年、推進委員は4期目を迎えました。

天候不順や資材・人件費の高騰、人手不足など、現在の農業は大変厳しい状況ですが、経営改善を進め、美味しく安全な食料の供給に努めます。

これからも地域の皆様と協力し、大切な農地を守り抜いてまいります。



推進委員
郡司 義久 委員
(湯津上地区)

子供たちのためにも
おいしいお米を
作ります!

稲作、そば農家です。推進委員1期目になります。

佐良土地区は農地の集約が進んでおり、私の推進委員としての仕事も限られたものになると思いますが、次の世代に良い形で繋いでいけるように頑張りたいと思います。

令和7年度農業者年金加入推進表彰で最優秀賞を受賞!!

令和8年8月18日、栃木県JAビルにおいて「令和8年度農業者年金加入推進特別研修会」が開催され、本年度より加入推進部長に就任した私は、同じく部長となった越沼委員、植竹委員とともに参加いたしました。

研修会に先立ち、大田原市農業委員会が栃木県農業会議の國井会長より、これまでの実績を評価され「最優秀賞」を受賞し、表彰を受けました。

その後行われた研修会では、独立行政法人農業者年金基金の黒田理事長や、株式会社GSTELLA ENTERPRISEの堀口代表取締役による講演を拝聴いたしました。お二方のお話を通じ、まずは地域の農家の方々に農業者年金制度そのものを深く知っていただくことが何よりも大切であると痛感いたしました。

今後は、農家の皆様にこの年金制度の持つメリットを丁寧にお伝えし、大田原市の加入推進活動に一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。

(文：屋代 幸子)



よろしくお願いします

第17回

あきもと やすひろ

秋本 康裕さん(40)

今回は、蛭畑で米や麦等の生産に取り組んでいる「秋本 康裕」さんをご紹介します。

「先代と共に歩む法人化。秋本農園が挑む、次世代の農業経営」を理念に、地域の食を支える秋本康裕さん。元々はJA職員として地域に密着し、働いていましたが、面積の拡大等で多忙となってきた、代々続く米農家で「親元就農」の道を選びました。康裕さんは、父の則夫さんが築いた農業経営を日々学んでいます。まだ経営移譲には至っていませんが、現在は父と密に連携しながら、将来を見据えた経営基盤の強化に注力しています。

現在、秋本農園では水稻約60ha、麦約15haという広大な農地を管理するほか、地域からの作業の受託もしています。面積の拡大や多忙を極める現場において、その象徴となるのが「秋本農園」の法人化です。先代とともに現場の技術や信頼を支え、効率的な経営管理や、若い人材が安心して働ける雇用環境の整備といった「組織づくり」を行い、二人三脚で農園を発展させています。

「先代が守ってきた美味しい米の味と信頼を大切にしながら、次世代へ繋ぐ持続可能な農業を実現したい」と語る秋本さんは、ドローンやGPSを駆使した最新のスマート農業の導入を行い、秋本農園の更なる飛躍を目指しています。40歳の若き後継者は、伝統への敬意と革新への情熱を胸に、確かな歩みを続けています。

(取材:事務局)



地産地消レシピ紹介「長芋と白美人ねぎの肉巻き」

新作レシピ!!



材料 (2人分)

長芋	200g
長ねぎ	1本
大葉	4枚
豚バラ肉	200g
片栗粉	大さじ2
サラダ油	大さじ1
醤油	大さじ2
酒	大さじ1
みりん	大さじ1
砂糖	小さじ1



作り方

- ①長芋は5cmの拍子切り、長ねぎも5cmに切る。大葉は縦半分に切り、豚バラ肉は半分の長さに切る。
- ②豚バラ肉に大葉、長ねぎ、長芋の順にのせ、手前から奥に向かって巻き、片栗粉をまぶす。
- ③フライパンにサラダ油を引き、中火で全体をこんがり焼き、Aの調味料を加えて煮、絡めて完成です♪

(ココがポイント!)

お好みで白ごま、唐辛子を
ふっても美味しいよ♪

(レシピ・文:屋代幸子)



コメント

シャキシャキの長芋と香ばしい豚バラ肉が相性抜群!夏の疲労回復に効果的なビタミンB1が豊富な豚肉に、大葉の爽やかな香りがアクセントになり、一口食べるとお箸が止まらない一品です♪ 片栗粉をまぶして焼くことで、タレがしっかり絡んで冷めても美味しい!おつまみにもお弁当のおかずにもぴったりですよ。



生活環境と豊かな農地が調和する大田原市は色々な農産物が育まれています。ここで生活している人の顔、生活、未来へつなぐ農業の情熱を現地で集めた生の声と共に、熱量そのままにお届けしていければと思っています。



農業委員会だより編集委員長 秋本 則夫

【農業委員会だより編集委員会】

秋本則夫・渡邊和子
渡邊恵一・屋代幸子
植竹裕子・田代保
関谷雄一・古沢成子